

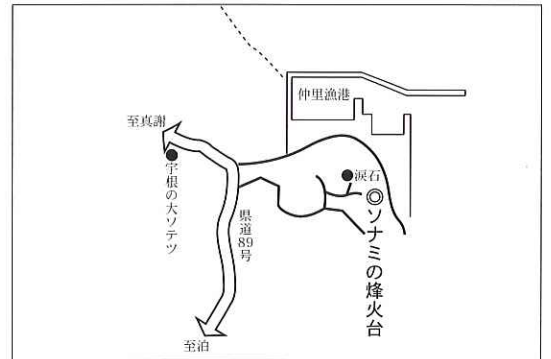


ソナミの烽火台

指定名称 ソナミの烽火台(町指定史跡)
所在地 久米島町字字根
スナミ原825-1
指定年月日 昭和47年9月2日
(旧仲里村指定)
所有者 久米島町

ソナミの烽火台は、久米島町の東部、真泊港の南側に位置する標高40m程の小高い丘にある。

烽火台は別名「火焚石」とも呼ばれ、船が通行したとき、それを知らせる烽火を上げた場所である。この烽火台は、戦後も原型のまま残っていたが、その後、取り壊され、今では烽火台跡の大石（高さ約2.5m、直径約7m）だけが残っている。このソナミの烽火台は、主に中国への船の往来に備えたもので、船が見えると烽火台で火をた



き、渡名喜島へ通報、渡名喜島から座間味、渡嘉敷、沖縄本島の小禄へつぎつぎにのろしをあげて伝達した遺跡である。